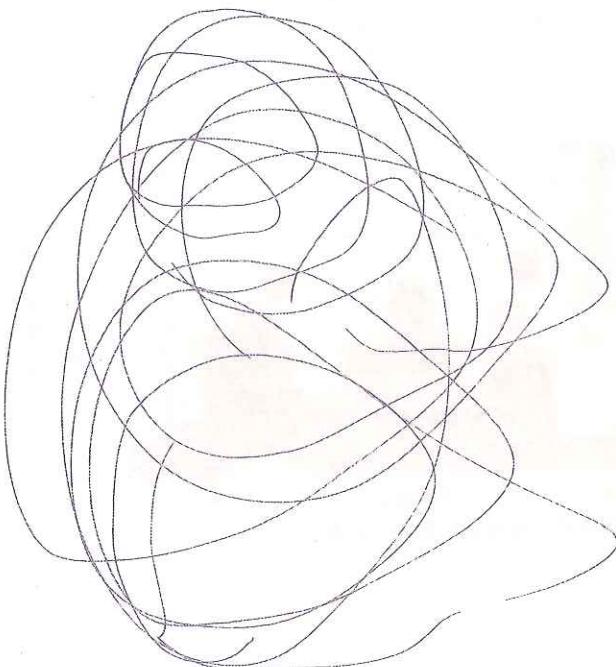


SSKS

働く障害者も 働けるんだオレたちも こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会
発行責任者：藤田勝春
編集責任者：田澤幸子
発行所：障害者団体定期刊行物協会
(〒157-0073)
東京都世田谷区砧6-26-21
定価 100円



もくじ

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| ①特集 見てきた、聞いてきた北欧障害者の
暮らしの様子（番外編） | … 2・3 ページ |
| ②仲間 | … 4・5 ページ |
| ③保護者 | … 6 ページ |
| ④トピックス | … 7 ページ |
| ⑤掲示板 | … 8 ページ |

こぶし作業所 鬼頭 友章



- | | |
|-----------------------------|---|
| ●法人事務局 こぶし作業所・
生活支援センター | ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
TEL 028(662)1911 FAX 028(662)1912 |
| ●けやき作業所
●デイサービスセンター | ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
TEL 028(687)1040 FAX 028(677)5789 |
| ●第2けやき作業所
●県東ライフサポートセンター | ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稻毛田1532
TEL 028(677)0495 FAX 028(687)4818
TEL 028(687)0311 |
| ●グループホーム
こぶしのときわ荘 | ☎321-0954 栃木県宇都宮市元今泉6-14-20
TEL 028(662)5533 |
| ●グループホーム
すずらんの家 | ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
TEL 028(677)4430 |

北欧の旅からはや五ヶ月近くが経ちました。二回の連載執筆のおかげで、老化した脳にも、人間らしさを追求するデンマークとスウェーデンの九月の鮮明な記憶が生き続けています。また、第一回で触れたが、「障害者福祉推進の原動力をどうつくっていくか（主体形成）」、そして「生活の場づくり」という課題を具体的・現実的にすすめていくことが最大の関心事ではあるのですが、実際にけやき作業所で二つのグループホームを維持しつつ、保護者会の高まる「親亡き後の生活の場づくり」というせつぱつまつた強い願いに対し、率直に言って現行のグループホーム制度でどの程度がんばれるのかと不安でいっぱいです。生活の場検討委員会事務局職員の献身的な努力と提案にもかかわらず、三六五日、二

特集

見てきた、聞いてきた 北欧障害者の暮らしの様子

(番外編)

けやき作業所所長
高橋 温美



十四時間の障害者の生活を一人の担当職員とバッタバッタと想え込んでしまいます。

こんな毎日のなかで「こぶし作業所が重度障害者

を受入れているグループホームを見学に行き元気が

出たらしい」という情報が流れてきました。灯台

元暗し。足下に泉が沸いているのを忘れていました。

早速少しずつ手探りで掘り返してみました。加えて

重度心身障害者も対象にしている横浜の「朋」も勉

強してきました。とりあえず三つのホームの拠つて

たつ、各自治体のグループホームの制度（特に、施

設の整備と職員体制）を比較してみました（表1）。

また、それぞれの特徴的なところについても触れてみます。

「鴻沼福祉会」のグループホームは、施設整備はなく、運営費も国の制度に若干上乗せをした程度の埼玉県補助金制度を活用したものですが、法人の運動によって壁を乗り越えようとしています。ここで

は重度・重複障害者の利用を前提に一億二千万円という建設資金を作りだし、バリアフリーのホームを建設しました。また、職員配置（常勤二名）は



▲デンマークの余暇施設カフェ・フレデリック
障害者の生涯教育の場でもある



▲スウェーデン・マルメ市のリハビリテーリングセンター

診断、治療、機能評価、訓練などISPの中核施設。
54名の医師・専門家、20名以上の職員から構成されています

ここは遊具のある庭、うしろがセンターです

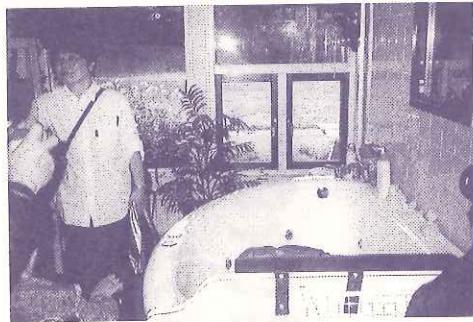
ームを設置しやりくりをしたり、ホームヘルパーの利用も併用しています。また、六つのホームの運営費として年間一千二百万円の自主財源（後援会）を作りだし職員を加配しています。

「かたくりの家（第一・第二）」は東京都江東区独自の重度障害者の補助金制度と年金制度で重度障害者のホームを実現しています。利用者十二名に対して、職員体制は常勤職員六名と非常勤職員二名で運営しています。

横浜市の「訪問の家」では生活保護（介護扶助、住宅扶助）を受給し運営の補強をしているようです。職員体制は四名（常勤職員一名、非常勤職員三名／内キーパーソン一名）、他アルバイトです。ちなみにデンマークでみた重度・重複障害者の職員配置は七対七（常勤職員）ですから北欧の生活の場に近づいているといえます。

国基準のさいたま市はさておき、東京都江東区と横浜市の環境はどのように形成されたのか気になります

ます。



▲スウェーデンの総合保育園
浴室のむこうには広い芝生の庭（山や遊具
がそろっている）が見える

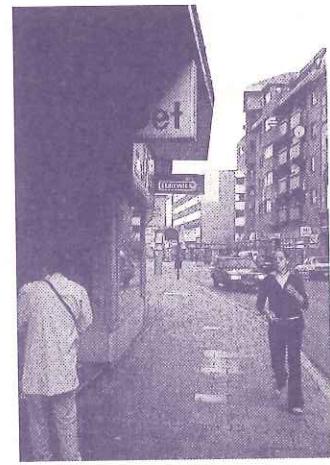
人権を守り
に障害者の
人権を守り
度・重複障害のある人たちの暮らしの格差は歴然で
すが、栃木県と三つのグループホームを比べると、
私たちの進むべき方向が少しは見えてきそうです。
自分たちでお金を作ってでも障害の重い人たちの当
たり前の生活をつくっていこうと運動を繰り広げて
いる鴻沼福祉会。多くの住民組織でうちたてたかた
くりの家。訪問の家（朋）の運営を聞くとヤマト財
団から表彰された田浦理事長の功績も大きいとは思
いますが、横浜リハビリテーションセンターの専門
家集団や横浜市職員（労働組合）の、制度を

作りだしているという主体的要因に拠るのではない
かということが仮説としていえる。（筆者要約）と
発言しています。同じ日本に暮らしながらも、重
度・重複障害のある人たちの暮らしの格差は歴然で
すが、栃木県と三つのグループホームを比べると、
私たちの進むべき方向が少しは見えてきそうです。
自分たちでお金を作ってでも障害の重い人たちの当
たり前の生活をつくっていこうと運動を繰り広げて
いる鴻沼福祉会。多くの住民組織でうちたてたかた
くりの家。訪問の家（朋）の運営を聞くとヤマト財
団から表彰された田浦理事長の功績も大きいとは思
いますが、横浜リハビリテーションセンターの専門
家集団や横浜市職員（労働組合）の、制度を



▲スウェーデンのGHの日程表
下は同国で使用している、シンボル言語、生活全体を表そ
うとしている

だしているのだと思われます。
帰国してから知ったのですが、デンマーク・スウェ
ーデンにおける障害者の制度・施策の発展には当事
者団体（障害者・家族）の果たす役割が大きかった
と言います。北欧で貧困街が見あたらないのは偶然
ではなく、文化住宅よこせの大運動があつたと言いま
す。消費者の不買運動で町には缶ジュースはひとつ
も見あたりません。八〇%を超える投票率は、労働
者の平均賃金とさせて変わらぬ給料で誠実に国民に
つくす政治家を育ててきました。自分たちの生活は
自分たちでつくりだすという真っ直ぐな方程式が少
しづつ見えてきたように思えます。



▲スウェーデンの脳障害の人の
ためのアクティビティセンター。
町のど真中にある。14名の
専門家が1日24～5名の利用者
と対応する。マッサージ士は、
“専門性を維持するため、1日3
人以上は受けない。”と言っていたのが印象的

-表1-

重度・重複障害者のグループホーム

自治体単独補助制度の比較

施設整備費	家賃補助	運営費補助
(さいたま市鴻沼福祉会) 埼玉県		7万5千8百円／1人月額
(江東区かたくりの家) 東京都 2千4百万円 (改修及び初度設備)	75万円（上限）	8万9千円／1人月額 $\times 3/4$ 21万円／1人月額・重度加算
(社会福祉法人訪問の家) 横浜市 3百6万2千円 (上限)	17万7千円×1/2 (上限)	67,600～82,000円（基本型） 133,600～184,200円（介護型） 事務費300,000円/年



▲障害者の移動を保障する福祉タクシー（スウェーデン）
すぐに来ます。介助もOK

男性・女性 66歳

おしい牛井 おいしやう
おいくし、安く、美味しい
他にこんなのがない
これがもし満足してね。

ご協力ありがとうございました。

お客様へのお願い
本日は、ご来店いただきありがとうございました。接客マナー・飲食物などお気づきの点がございましたら、お教えください。改善に向けて努力してまいります。お帰りの際にレジ横の箱にお入れ下さい。

男性・女性 17歳

あたたかいおしゃれなおいしい♪
また来ます。 by 先生
店員さんも感じいいがすごくよかったです。
落ちっこく、感じいいました。 by 生徒

ご協力ありがとうございました。

男性・女性 21歳

下館市へ通う知的障害者更生施設の職員です。障害者の喫茶店があと開いて初めて来ました。私の勤め先にも喫茶を開いていたので、親近感がありました。私としては、モーモーホット障害を持つ方がこの喫茶店等でみんないいとして次山の人達と交流をもちたいと思っています。皆さん明るく良いイメージでしたよ。これからも頑張って下さい。

お手伝いしている方
名前が知りたい
エプロンに
カワイイネム
パン
フルトモツナゲル
どうですか?

ご協力ありがとうございました。

男性・女性 22歳

すく、おいしかったです。
店員さんも、とても丁寧で笑顔が
ステキで、くつろぎました。ありがとうござ
うからも頑張って下さい。

ご協力ありがとうございました。



キッチンセルフを利用された
お客様のアンケートです。

保護者から要望の多かった「宿泊体験学習」が、実現しました。

去る一月一七日(木)宿泊体験学習が実施されました。この宿泊体験学習は、こぶし作業所で実施している自立生活体験(旧宿泊訓練)とは別に、つくしの里(こぶし作業所生活実習棟)運営委員会が実施する、希望者(こぶし作業所の仲間全員が対象ではある)が対象の一泊二日で行われる宿泊体験です。これは、つくしの里ができた頃(平成九年)からの保護者の要望ではありましたが今年度初めての実施となりました。内容は、自立生活体験とほぼ同じで、四人程度のグループに職員が一名入り家庭から離れた生活を体験するというものです。

今年度は八名の仲間から希望があり一回の宿泊体験学習が実施されます。

(成田記)

宿泊体験学習スタート

祝！道明宏次君成人

おめでとう！

平成一二年からけやき作業所を利用される道明宏次君が今年、二〇歳を迎えるました。けやき作業所自治会では二月二一日に「成人を祝う会」を開催し道明君の成人をお祝いしました。「祝う会」では養護学校時代の恩師からお祝いのお手紙を頂きました。

道明宏次君、成人おめでとうございます。

道明君が益子養護学校を卒業してから二年、けやき作業所で頑張っていることだと思います。高校の頃の道明君は、何に対しても意欲的で「よーし！」と言ひながらはりきって学習に取り組んでいましたね。卒業するとき、けやき作業所で頑張って働いてサングラスを買う。サングラスをかけてドライブに行くんだと夢を語ってくれました。これからも夢を持つて「よーし！」と気合を入れて頑張って下さい。先生はいつまでも宏次君のことを応援しています。それからここまで立派に育てくれた、お父さん、お母さんを大切にしてしつかり親孝行して下さい。最後に健康が一番です。これ以上体重を増やさないように食べ過ぎに気をつけましょう。

では、これからもお元気で頑張って下さい。
たまに学校へ顔を見せに来て下さいね。お元気で

益子養護学校

松本良子先生

「ボーナスマップを自分達の手で」

けやき作業所自治会は、きょうされん
カレンダー販売に取り組みました。

「ボーナスは支給されるけれど、それにプラスして自分たちの力でボーナス稼いでみたらどうか？」職員の提案に仲間の反応は賛否両論。まず「口を開いたのは、自治会長直井信也さん「無理だべ」「オレが頑張っても売り上げはオレのところにはこないでしょ。」悲観的な言葉が並びます。これも経験からくるものです。以前、カレンダー販売に取り組み、苦い思い出をしたが為に無理と分かっていることはしない。そんな想いが強かつたのでしょうか。他の仲間は未経験。「何もしないよりはしようよ。」と諸

代の恩師からの手紙、藤平君のギター演奏などで本人を激励し、仲間ひとり一人から集められた贈り物のメッセージ集には道明君の成人をお祝いする言葉、絵が集められ、仲間全員で本人を祝福しました。挨拶を聞く道明君本人も普段とは違う真剣な表情で挨拶を聞き、「二〇歳になつたから運転免許が欲しい！」けやき作業所の送迎バスの運転手になりたい」と抱負を語つてくれました。

祝う会が終わつた後も、プレゼントの花束とアルバムを大事そうに抱え「よーし！やるぞー！」と興奮醒めやらぬ姿がとても印象的でした。

橋さん。「一円でも高ければいいです。」と豊田さん。そして、きょうされんカレンダー販売は開始されました。各作業班の販売、納品先での販売。しかし結果は五本の売り上げ。さて、在庫四十五本をどうしようという臨時自治会役員会が開かれます。その間、カレンダー販売は進まず、結局、ボーナスの支給日に間に合いませんでした。「カレンダーが売れていないのにボーナスもらったのが悪いんだ！」仲間が動いてないんだもん」と藤平さん、佐々木さんから発言があると、「だから言つたんだ！」と直井会長は大声を上げました。

在庫の販売方法については、投げやりな意見から前向きな意見まで出されました。が、値引き販売をすることで一致。

今回のカレンダー販売は残念なことに上手くいきませんでしたが、活動を通じて自分たち（自治会）の活動を今後、更に責任をもつて主体的に取り組むことが必要だという気持ちが仲間に芽生えた点では意味のある取り組みになつたと思っています。

（矢板橋 記）

3月こよみ

こぶし作業所（予定）

- 3月2日(土) 支援会議（総括会議）
- 15日(金) 総括会議
- 16日(土) 総括会議
- 21日(木) 総括・計画会議

けやき作業所等（予定）

- 3月2日(土) 支援会議
- 10日(日) 日曜作業所検討会議
- 16日(土) 職員会議



今回は、こぶし作業所、池田善穂さんの
ご家族の登場です。

「こぶしとの出会いは？」

私の家は当時下宿屋をやっていました。住んでいた学生の方が話をしてこぶしに連れていてくれました。その方にはとてもお世話になりました。善穂がすぐに「行くよ」と言って通りようになりました。こぶしに入るまでは、群馬の施設にて、自宅の近くの施設がいいと言つて、こぶしに通りようになつたのです。入所時代、私が面会に行くと、高い土手の上で待つていたのです。

「入つてからは？」

勉強になりました。こぶしで良かったと思ひます。いやだと言つことなく通っていました。群馬の施設とは違い、家から通えて、すぐ会いにいける。当時はベアリングの作業をやつしていました。その後缶つぶしをやりました。

「当時の保護者会や後援会は？」

家人に兄弟も多かったのでなかなか協力できなかつたのですが、楽しくやつっていました。親同士のつな

がりも良かった。みんなで集まつてワイワイ話しましたよ。なかなか結論がでなかつたんですけどね。楽しかつたです。

「今はどうですか。」

すばらしい。家についてはできないことをやつてくれるのですから。今は石けん作りですね。家にいるよりは、こぶしで友人ができて楽しくやつているのが安心です。一人でいるのは寂しいようです。

「グループホーム(ときわ荘)に入つてからは？」

いろいろとやつていただきて、申し訳ない。家に戻つてくると本人もほつとします。ときわ荘ではいくらくら緊張していますね。でも、皆さん大事にしてくれます。今は、体調を崩してご迷惑をおかけしていますが…。

「これからこのこぶしに期待するものは？」

こぶしが最高ですよ。他に見てくれるところなどないでしょ。これから先のことは、わからないですよ。



お知らせ

セルプ・みらい
ニユース

外装、敷地内の整備もすっかり終わりました。ピンクとエンジ色のコントラストがとても温かく、優しい温もりを感じさせる「セルプ・みらい」です。敷地入り口と玄関には住谷恵水さん真筆から作られた“セルプ・みらい”的看板がかけられました。心が引き締まる思いがします。

建物の完成と同時に運営面の準備も慌ただしさが増してきました。開所まで一ヶ月。“みらい”ができてよかったです”と言える中身づくりを目指して準備を進めたいと思います。作業所づくりの中心になってきたお母さんたちは、ここにきてまた、新しい仲間を迎えて元気です。アルミニ缶集めが軌道に乗り、毎日回収に出かけては、協力者の輪を広げています。次号には、完成了した“みらい”的姿を御披露したいと思います。

「きょうされん第25次国会請願署名募金活動にご協力下さい!」

今私たち（こぶしの会の両作業所等）が加盟しております「きょうされん」におきまして、四半世紀にわたって取り組んでいる国会請願署名・募金運動が全国各地で取り組まれています。

「きょうされん」とは、結成以来二四年にわたり障害のある人が安心して働き続けられ、かつ運営がしっかりと成り立つ小規模作業所の本格的制度化を中心みすえ、多くの障害者団体と連携をしながら「国に対するボディーブロー」としてねばり強い請願運動を進めてきた団体です。小規模作業所問題を中心とする成人期障害者の問題は一瞬にして解決できるわけではありませんが、きょうされんの運動と多くの国民の支持によってジワジワとその効果が現れています。

その現れとして二〇〇〇年（平成二二年）の社会福祉基礎構造改革に伴い社会福祉事業法が社会福祉法となり、社会福祉法人ならびに通所授産施設制度の認可要件が緩和され、小規模通所授産施設制度が創設されることになりました。しかし、運営費などの補助金額が一般の通所授産施設と比較するととても大きな格差があるなど、まだ多くの改善が望まれる制度であります。また、二〇〇三年度（平成十五年）より導入される支援費支給制度においても、同様に多くの課題を抱えたままとなっています。

私たちも全国の仲間と共に、一六〇万人署名、七、

〇〇〇万円募金（全国）を目指として、取り組みを開始しております。本国会請願署名・募金運動にご協力下さいますようお願いを申し上げる次第です。

きょうされん栃木支部事務局

けやき作業所（伊藤 記）

（けやき作業所）アイサービスセンター

新車登場！

けやきに新しい仲間（軽自動車）が増えました。

昨年一二月二一〇日、「24時間テレビ」チャリ

ティー委員会様より寄贈されたスロープ付き軽自動車が納車となりました。

デイサービスセンターの個別対応や、通院をはじめ、授産のパン販売へと活躍中です。

今後とも大いに使用していきたいと思います。

（荒井 記）

社会福祉法人 こぶしの会 殿

1. 福祉車両

スロープ付き軽自動車

以上、贈呈致します

全国の皆様から寄せられた募金で購入していますので、末長くお役立て下さい

平成13年12月13日

「24時間テレビ」チャリティ委員会
委員長 山根義樹



掲示板

セルフ・みらい建設のための 募金にご協力ください

施設を建設するためには、多額の資金が必要になります。国や県から補助を受け、又、公的な融資制度を活用しても約1,700万円の寄付・募金がなくては、施設を建設できません。

そのため、皆さんには、私たちの施設づくりの趣旨をご理解いただき、施設建設募金へのご協力を心よりお願いいたします。

募金要領

1口3,000円です(何口でも結構です)

募金をくださる方は

●事務局または作業所にお持ちください、下記までお電話いただければ幸いです。

事務局(佐護方) 0285(84)6181
けやき作業所 028(687)1040

●ご送金(郵便振込)の場合は、所定の振替用紙をご使用いただくか、下記へお願ひいたします。

郵便振替 口座番号 00140-9-558846
みらいの会

ボランティア 募集

こぶし・けやきで
楽しく仕事をしませんか

内容 こぶし作業所
けやき作業所
デイサービスセンター
第2けやき作業所
(作業所で仲間と一緒に仕事をして下さる方募集しています。)
キッチンセルフ
厨房・フロントでお手伝いしていただける方
ときわ荘
日中のそうじボランティア
すずらんの家
夕食づくりボランティア

きょうされん
賛助会員募集
連絡は栃木支部事務局
けやき作業所へ

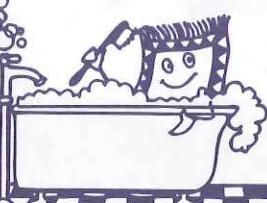
こぶし作業所・けやき作業所
後援会員拡大にご協力をよろしく
お願ひいたします。



ふふふせっけん

好評発売中!!

粉石鹼 1.2キロ入り 240円
固形石鹼 2個入り 100円



第25次
国会請願署名・募金に
ご協力を
お願ひいたします。

お問合せは
各作業所まで



にこにこパン屋さん

各種豊富に取りそろえて
おります。注文票をFAX
にてお送りしますので、
お気軽にご連絡下さい。

けやき作業所
直通電話兼FAX
028(687)1788へどうぞ。

